

發行兼編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町長橋町廿五番地



定価 一部金五銭 郵税五厘 廣五銭 告五銭 行五銭 刊五銭 休五銭 日五銭 日五銭 日五銭 日五銭 日五銭 日五銭 日五銭 日五銭

刊夕日九十月六

常盤毎日新聞
病床寸言 (五) 川崎文治
而し再び至らざる機会を逸した譯ではないから悲觀するには及ばぬと思ふ、飛躍の時期は今後もある、唯滿を持て放つか放さぬの相違だけに過ぎない

然も余の文筆を手傳つて呉れる氣が十數枚に及ぶ原稿を送つて寄込した、ソレに依ると憲派の機關紙なりと銘打つた『磐州日報』や『東北日報』等を経て不幸癡刊の止むなきに至つた久野君が石城憲派甚だ頼むに足りずと洩らした長大意に對して其鳴した顛末が自由人一流の激越した調子で書かれてある

「面倒見なさい」はヨイ、然れ共始めから面倒を見て貰ふ積りで手を染めた結果當て事が先から外れて面倒を見られなかつた爲めに自滅したのであるとすれば人を恨むの用なしである
第一新聞事業の如き二一夭作の五と云ふ工合な算盤勘定に添はない一種不可思議なる仕事に手を染めるに當つて人にたより人にもとめ最初から面倒を見て貰ふ様な虫の好へ考へては到底永續的な可能性は先づいつて望まれないと云はねばならぬ、問題は、コ、にある、

和漆器屋
店器漆屋井大和
目丁一町平
番五〇四話電

遠藤パン
小僧さん入用
喰べてたいしい

ユ一ホン號
特價提供
正價 四十五圓
の特價 三十圓
(御注意)
會出時計店
電話三三六三

看護婦派出所
の求めに應ず
平町南町
看護婦會
電話三〇七番

大音堂
平町四丁目

金成醫院
外科内科
産婦人科
花柳病科
平町鎌田町
金成忠義
電話三五八番

西○洋○御○料○理○
美味と經濟の
「御入浴も御隨意ですから御散歩の折に是非御立寄を願ひます」
洋食 牛豚 氷石川亭
平町田町電話四十三番

藤沼醫院
内科 小兒科 淋病科 梅毒科 (需應院入)
平町紺屋町
電話長五〇七番

清酒 鶴仙
醸造元 石城郡平窪村
酒 鶴仙 松吉屋本店
電話二四一番

久釜屋商店
特約代理店平町五丁目
和洋銅鐵
金物問屋
電話園九番一三九番

眞に是れ鬼に金棒!
耐火耐震耐久力の絶大なる
日本コンクリート鐵網
拔群優秀なる斯界の權威
磐城セメントを推奨す
(施工説明書を進呈致します)
最も經濟的に然も超越せる無比の良材

蓄音器
音響博士 駒前
平館

大冒險王
松竹キネマ 株式會社直營 平館
如突如名畫公開
栗島澄子主演

謝恩興行
六月拾九日ヨリ
館主爲初老祝賀 木戸無料 (本日より六日間)
實寫 西班牙の古蹟
喜劇 滅茶^{ハム}
活劇 峠の彼方へ
第二 大冒險王

向夏眞
友染モスリン
夏衣 着尺
大モスリン店
平町三丁目角
御來店御用命をお願申します

治製菓會社
洋菓子
トマツマ

小丸登式店
平町田町 電話三三三番
川添房二郎

Table with exchange rates and prices for various banks and commodities. Includes entries for 銘格, 拂込, 時價, and various bank names like 磐城銀行, 同新, etc.

株式賣買中值
電話に金融致し

今晚から有聲座では 「常磐毎日」宣傳週間

本紙推奨の一方法とし
懸賞募集の試み

帝キネ直營有聲座にては常
に本紙を信賴し場内に於て
觀客に配布する「プログラ
ム」の中迄にも本紙推奨の
廣告文を刷り込む等聲援的
の好意を表し

諸種の 便宜を圖る

べく其勞を惜まなかつたが
更らに今回本紙の名稱を平
人士に徹底的に印象付けん
と今晚から來週木曜日迄を
「常磐毎日新聞宣傳週間」
と定めた、其試みは如何な
る方法と云ふに是非左記の
記事を通覽され度い、

方法ば頗る

興味が多い

即ち有聲座にては大森茂、
富田壽朝、丸山東洲、南星
桃の諸君が映畫の説明に當
つて居る、而して今晚から
來週木曜日迄、毎夜此辯士
の内の誰れか

前口上

か或は映畫
説明の中に「常磐毎日新
聞」と明らかに本紙の題號
を稱する仕組になつて居る
是れを聞いた觀客諸君はド
ノ辯士が何れの映畫の前口
上或は説明の中で「常磐每
日新聞」と云つたかをハガ
キにしたためて長橋町の本
社宛に投じて載せたい、本
社はその中から當選者特賞
一名外五名を

平町乳劑撒布

既報
平町の石油乳劑撒布は來る
廿二三の兩日に決定したが
役場吏員及び各區の衛生區
長が是れに立合ふと

小名濱平間で 磐中發火演習

來月四日頃
磐城中學校にては三學年以
上が來月四日頃小名濱平間
に於て發火演習を行ふ筈で
あるが指揮者は長島北郷兩
大尉である

三大炭礦の 賞與廿萬圓

平町も一景氣
常磐各炭礦では上半期の決
算をしたが大炭礦に付き
大体をきくと入山炭礦は資
本金六百萬圓、拂込四百廿
五萬圓で半期採炭廿萬噸、
販賣十七萬噸で

純益金 廿五萬圓

に達し年一割二分の配當が
出来るが前期分欠損うめ合
せのため配當を八分に止め
磐城炭礦は資本金九百萬圓
中拂込七百卅五萬圓、半
期出炭五十萬三千噸、純益

金八十五萬圓の
多きに 及んだが企
業費償却その他の關係で入
山同様八分の配當に止める
といふが入山、磐城、古川
の三大炭礦における前半期
の賞與金は少くも廿萬圓以
上に達すべく今月末にはい
づれも
本人の 手に渡るで
あらうから平町の景氣も幾
分よくなるものとみられて
ゐる

平町収入が 今年は激減した

不景氣風が此處にも吹く
示された統計表

「君停車場も不景氣になつ
たよ」と新平驛長が示した
統計表に依ると一日平均の
乗車賃金が六正十年は八百
十六圓、翌十一年になつて
八百六十八圓、更らに十二
年には繰登りに千二圓と云
ふ巨額に達したが昨年とな
るに及んで下向となり九百
四十六圓、今年は六月十一
日から昨日迄の處を平均し
て見て七百四十圓云ふ互合
に下つて居る

白痴の娘が 弄火して火事

昨日午後五時頃石城郡平窪
村大字四ツ波字稻田百六十
四番地農業福地喜八郎力よ
白痴の娘(黒でもよい)大サ
シ五杯をほうろくでいり。
町寧によくすつて味噌大サ
シ山盛二杯砂糖小サシ一杯
を加へてすりませ、出汁七



胡麻味噌素麵

に急を告げて
救助を 乞ふ事に常
々注意して置く事が肝要で
あるが出来る事なら小供等
の身長より深みのある河川
や海岸でも泳ぐ人の少い場
所には成るべく行かないよ
うに注意して欲しい、尙農繁
期にはたとひ忙しくも子供
には子守をつけるか危険な
ない遊び

場所を 選定して年 長の子供等をして絶えず監 視するよう注意されたい溺 死兒童中には何れも替難い 只一の子實僅かの間の不注 意により取返しのつかぬ結 果となり母親が狂氣せんば

農繁に 續くに水泳

期となるから常に留意され
たいものであると櫻村平警
察署長は語つた

平町人事

▲出生
△南町七〇 當時神奈川縣横濱市戸
部町四五 齊藤新七氏四男茂
▲婚姻
△青森縣青森市古川町四四 牛馬宿
横山彦八(三六) 田町十九吉成
まよ(三五)
△鎌田町四五 會社員猪狩佐司馬氏
(三一) 石城郡飯野村上荒川九〇
農業佐藤キキ(二三)
▲死亡
△鎌田町一六 鯉岡ヨネ(八八)
△古報治町三五 市川フミ(四五)

各學校の催し

水泳講習等
學校生徒にとつて一年中の
楽しい時期暑中休暇八月も
近づいて來たので各學校で
は例年の如く水泳その他の
催しについて考究中である
が磐城中學校では八月一日
から一週間磐城高等女學校
では七月二十五日から三十
日まで何れも小名濱海岸に
於て磐城中學校山崎教諭を
教師として水泳講習會を催
すべくは平第一第二の兩
小學校でも同様八月一日か
ら有志を募つて臨海學校を
開催平商業學校にても同様
の催しがあると

各濱活氣づく

縣水産試験場の磐城丸はか
つを漁場探検のため小名濱
を十七日夜出帆本縣沖合よ
り隣接茨城縣沖合三四四十
イリより乃至五六十イリ
のどこを調査中であるが
數日前から本縣小名濱沖合
七、八十イリの海區には
暖水が來たり水温廿度内外
となりかつを群もいよく
本縣沖合に來遊したとの報
あり縣下各濱におけるかつ
を船四十餘隻は何れも目
八合位を徐々に入れてすり
のばし、小鍋にとつて飯杓
子で掻き混ぜながら火を通
し、汁氣が半分位に衰詰つ
た頃火より下して冷たく成
るまで、冷まし灰汁抜きし
た辛子小サシ山盛一杯を加
へてかきませおきます、
次に冷した素麵を井に盛り
氷の小片二三個を入れ、ト

文藝大時代劇

邪宗門の女 全十
繪島千歌子・雲井淳・小島陽
三・生野初子共演
猛闘現代劇
熱血の洗禮 全六
橋本君雄・藤川三之助・岩城
友朋・小町美子・都賀清司
松尾文人共演
等寺院大作

響

坂東妻三郎・泉春子・小川英
麿・本間直司・環歌子共演
東亞直營東北封切場
六月二十一日より

平劇場

文藝大時代劇
邪宗門の女 全十
繪島千歌子・雲井淳・小島陽
三・生野初子共演
猛闘現代劇
熱血の洗禮 全六
橋本君雄・藤川三之助・岩城
友朋・小町美子・都賀清司
松尾文人共演
等寺院大作

農繁期の節には 小兒の溺死が多い

世の親達に注意を望む
櫻村平警察署長談

小兒の溺死は農繁期に入り
著しく増加するのが毎年の
例であるが其多くは農家に
於ける田植、養蠶等多忙な
爲め屋外に遊んでゐる小供
が溜池、堀小川に
轉落し たに氣付か
ず程過ぎておれど氣付いて
探し廻つた時は既に息切れ
て如何とも致し方がない、
殊に子守が自分の遊びにま
ぎれてゐるうちに溺死した

子供等

は附近の人
々の救助を求むる事には氣
付かず一參に實家に知らせ
ようとして走るので救助に
來た時は既に遅い結果を來
たして居ることも尠くない
から一般家庭でも斯る場合
は何よりも近所に居る人々

場所を

選定して年
長の子供等をして絶えず監
視するよう注意されたい溺
死兒童中には何れも替難い
只一の子實僅かの間の不注
意により取返しのつかぬ結
果となり母親が狂氣せんば